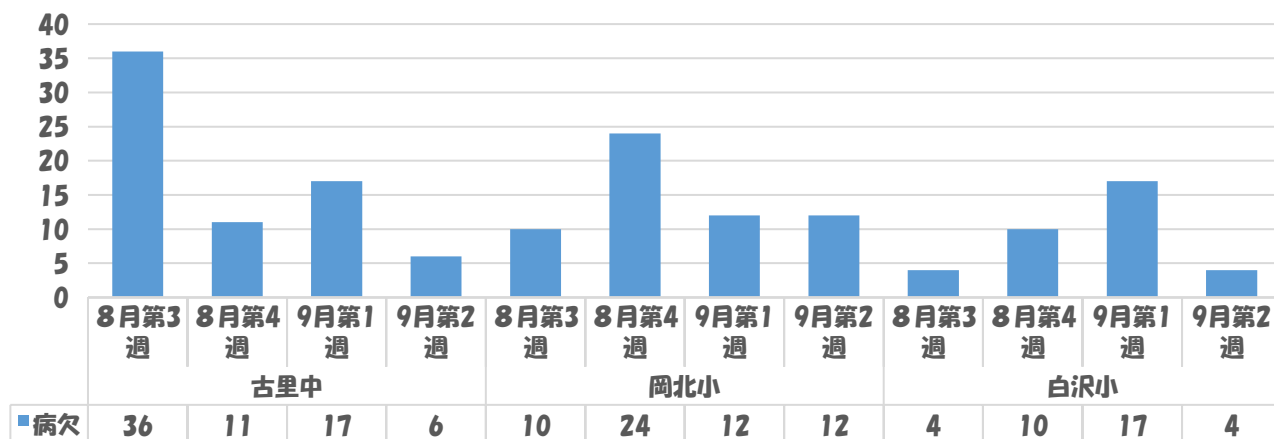


古里地域学校園養護教諭分科会では、3校で情報を共有し、協力して学校保健活動を行っています。今回は、夏休み明けからの欠席状況をお知らせします。夏休みが終わっても暑さが続いており、体調を崩している児童生徒がみられます。

欠席者情報（8月4週～5週）



学校の新しい生活様式

古里中

- 今年度の集会は体育館など1ヶ所に全校生徒が集まることがないように、テレビ放送で実施しています。教室のテレビから生徒は見ることができ、冷房環境も整っているため、熱中症対策にもなりました。



- 物品消毒の作業は、教室を放課後に学級担任が行い、特別教室を清掃の時間に消毒係の生徒が行っています。他にも石けんや消毒液の補充など生徒と一緒に感染症対策を進めています。



- 制服からジャージに着替えるときの『密』を避けることや消毒時間の確保の観点から、ジャージ登校を始めました。今年の梅雨は長く寒かったので、服装の調節がしやすい面でも良かったです。



- 学校再開後の部活動は、ケガ防止と感染防止に重点を置いて、基礎練習を中心としたメニューから始めました。終了後は、共同で使う物品などを消毒する時間が設けられています。

岡北小



【新型コロナウイルス感染症対策】

学校では、登校後、休み時間、給食前、清掃の後、トイレの後には、石けんをつけてしっかり手洗いをするように呼び掛けています。また、水道で順番を待つ時には距離をとって並べるように、各水道前に足型を貼って、密にならない工夫をしています。

そのほか、現在縦割り清掃は中止していますが、クラスごとに清掃場所を分担して掃除を行い、校内の清潔を保ちながら、休み時間には、保健委員会の児童が教室のドアノブ等を消毒し、放課後は職員が教室の机・いす、トイレ等の消毒を行っています。



【熱中症対策】

岡北小では、1日3回熱中症計にて熱中症指数を測定し、保健室前の掲示板にてお知らせしています。熱中症指数が31℃以上になった時や、気象庁による『熱中症警戒アラート』が栃木県に出された時には放送でお知らせし、外での活動を中止しています。

また、今年度から児童保健委員会の活動として、毎日給食の時間に熱中症情報を放送しています。お昼の気温と湿度、熱中症の危険レベルをお知らせしているほか、帽子の着用やこまめな水分補給など、熱中症への注意と予防対策を呼び掛けています。外で活動する際には、帽子の着用を徹底しており、子どもたちは外遊びの時も、しっかり帽子をかぶることができています。



白沢小

今年は残暑が大変厳しく、白沢小では、感染症予防対策と熱中症予防対策を工夫しながら実施しました。

- ・8月中は傘をさし、マスクを外しておしゃべりをしないようにして登下校しました。傘をさすことで、日差しや地面からの照り返し和らげ、周りとの距離を取ることできます。



- ・休み時間は少し短くなってしまいましたが、休み時間を前半と後半のグループに分けて時間差をつけて、外遊びをしています。校庭や昇降口、水道の混雑を避けることができ、ロング休み時間も熱中症危険性を低くして安全に過ごすことができます。

- ・7月まで子どもたちは簡単な清掃をして、先生たちが消毒や清掃をしてきました。8月からは通常通りに清掃活動を実施しています。感染者が発生していない状況では一次的な消毒よりも清掃によって清潔な空間を保ち、清掃後は手洗いを徹底することが大切です。



- ・手洗いを全員しっかりやっていくために、水道が混雑しないように各学年で水道の使用場所を決めています。それでも混雑してしまう場合には距離をとりながら並ぶようにしています。